

環境報告書

2015年度版

白金鍍金工業株式会社

発行日：2016年6月7日

発行部署：企画室

<経営理念>

白金鍍金は表面処理を通して社会に貢献し社員と会社の幸せを実現するために存在する。

<基本方針>

- ・優れた品質、サービスを提供し続けます。
- ・希望と誇りを持てる会社を目指します。
- ・環境への配慮を常に心がけます。
- ・職場環境の向上に努めます。
- ・安定経営に向けて利益を確保し続けます。

<行動理念>

- ・社会人として白金鍍金の一員として良識ある行動を心がけます。
- ・仲間を思いやりチームワークを大切にします。
- ・整理、整頓、清掃を徹底します。
- ・納期と約束を守ります。
- ・基本に忠実に確実な作業をします。

人と技術と環境の調和をめざして。

技術は人によって支えられ、人は環境によって抱かれます。

SIRAGANE は、その健全な発展と調和をめざし、さまざまな企業努力を続けています。地域活動への参加、省資源・環境保全・リサイクルの取り組み、地球に優しいものづくりなどの取り組みを以下に示します。

- ① ソーラーシステム導入によるクリーンエネルギーの使用
- ② コージェネシステム導入によるエネルギーの有効利用
- ③ 緊急時の給水設備提供による地域社会への貢献
- ④ 廃プラスチックの補助燃料材への切り替えによるリサイクル化

1. 会社概要

<会社概要>

社 名： 白金鍍金工業株式会社

代表者： 代表取締役 笹野 恭史

資本金： 4,000万円

設 立： 昭和24年9月

従業員数： 約151名（平成28年6月現在）

事業内容： 樹脂めっき、金属めっき、真空蒸着

工 場： 本 社： 名古屋市守山区花咲台2-1001

中国工場： 常州市新北区春江鎮銭家辺村委銭家辺 168 号



2. 環境方針

白金鍍金工業株式会社は、めっきをはじめとする表面処理の事業活動において、環境汚染を防止する為、地球環境に与える影響を認識し、地球環境の保護・保全に努めます。

1. 事業活動から環境に与える影響について評価し、環境への負荷を低減する為、自主的改善目標を立案し、計画的な見直しを行い、継続的な改善を技術的・経済的に可能な範囲で行ないます。
2. 環境に関する法規制及び、公害防止協定等を遵守します。
3. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した活動に努めます。
 - (1) 環境に配慮した技術開発
 - (2) 資源の節約と再利用の拡大
 - (3) 排水の適正処理・発生量の削減
 - (4) 廃棄物の適正処理・発生量の削減
 - (5) グリーン購入の推進
4. 環境内部監査を実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。
5. 全従業員に本方針を周知徹底するとともに、必要に応じて外部への公表を行います。

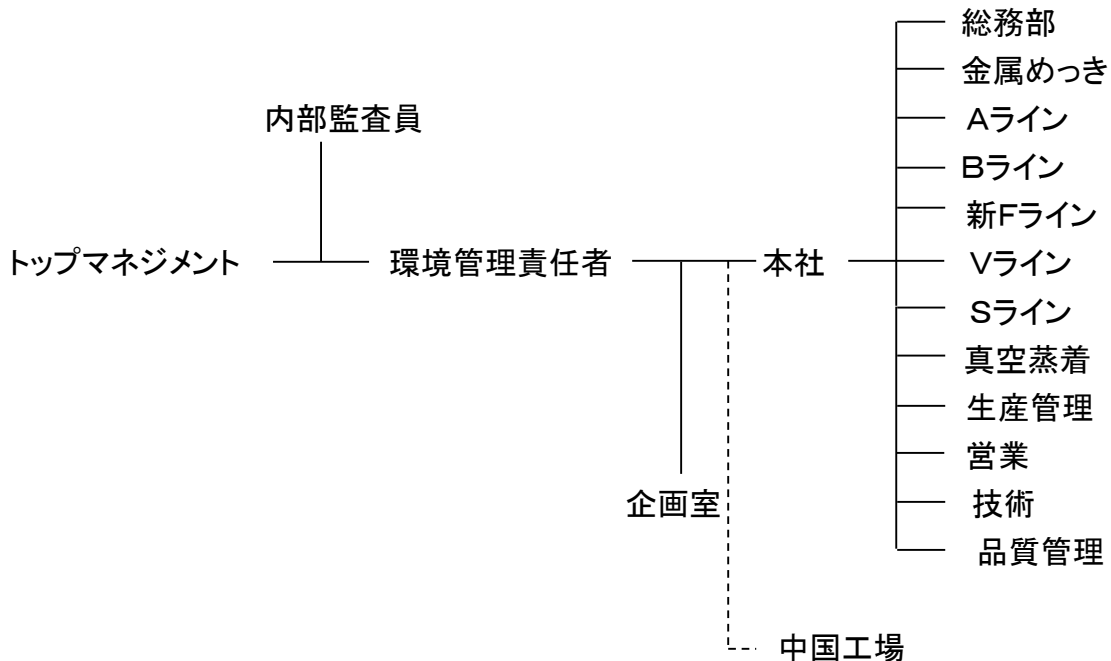
2001年7月30日 改訂2005年7月31日

白金鍍金工業株式会社

代表取締役 笹野 恭史



3. 推進組織(2016年6月現在)



4. 教育/市民活動

年月日	場所	活動内容
2001年12月26日	白金周辺	周辺の地域清掃(年1回実施)
2001年12月27日	矢田川	矢田川河川敷の清掃(年1回実施)
2003年11月7日	大森工場	医学部研修の受入
2004年11月2日	全社	名古屋市エコ事業所に認定
2005年1月31日	全社	愛知ブランド企業に認定
2005年2月25日	全社	なごやまちピカ作戦に参加
2005年11月15日	大森工場	天子田小学校の社会見学の受入
2005年12月14日	大森工場	名古屋手をつなぐ育成会の社会見学の受入
2006年11月7日	大森工場	あいち資源循環情報システムに情報提供
2007年10月18日	大森工場	新潟県央工業高校が修学旅行で工場見学
2007年	全社	元気なモノ作り中小企業300社に選定
2009年2月4日	全社	名古屋市エコ事業所特別賞の受賞
2016年1月	全社	環境整備優良事業所に認定



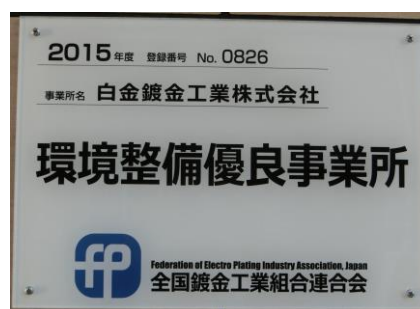
<名古屋市エコ事業所認定>



<愛知ブランド企業認定>



<元気なモノ作り中小企業300社に選定>



<環境整備優良事業所>

5. 環境・品質マネジメントシステム

5.1 外部監査

キックオフ	2001年7月9日	
事前審査	2002年5月20、21日	
書類審査	2002年7月11、12日	
登録審査	2002年8月28、29、30日	
認証日	2002年9月12日	審査機関：(株)KPMG
審査機関変更	2006年3月10、17日	審査機関：JICQA(株)
統合審査	2006年6月19、20日	審査機関：ムーディ(株)
更新審査	2009年6月15、16、17日	審査機関：ムーディ(株)
サーベイランス	2010年6月14、15日	審査機関：ムーディ(株)
サーベイランス	2011年6月22、23日	審査機関：ムーディ(株)
更新審査	2012年6月4、5、6日	審査機関：ムーディ(株)
サーベイランス	2013年7月3、4日	審査機関：ムーディ(株)
サーベイランス	2014年7月7、8日	審査機関：ムーディ(株)
更新審査	2015年6月2、3日	審査機関：ムーディ(株)

ISO14001、9001 認証を取得している事業所において、年一回、外部監査を受け、環境・品質マネジメントシステムの有効性を確認しています。2015年度外部監査機関による重大な指摘事項はありませんでした。

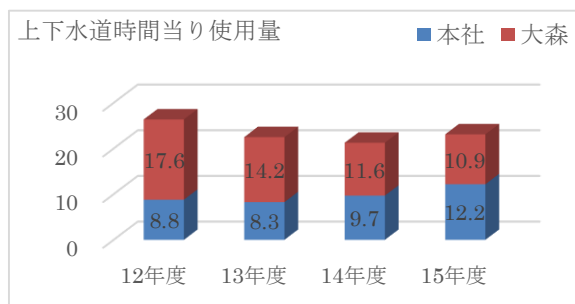
5.2 内部監査

社内で自主内部監査員を養成しており、研修によるレベルアップがはかられています。毎年自主内部監査結果は環境・品質マネジメントシステムの継続的改善に反映され、会社の運営、製品品質の向上につなげています。

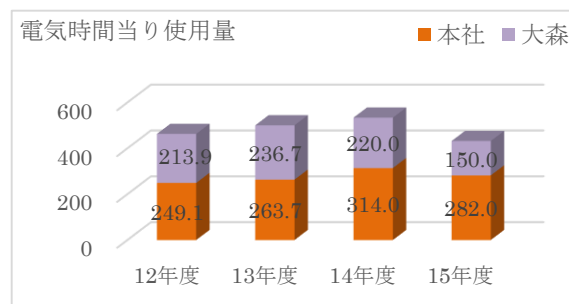
6. 行動と結果

6.1 資源の投入(INPUT)

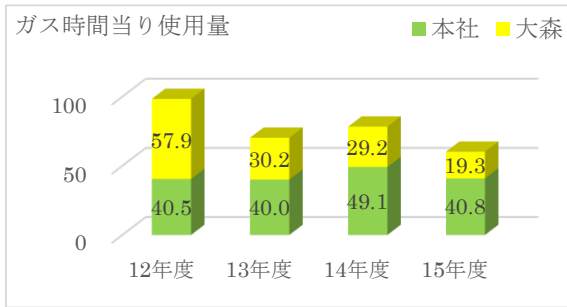
<<<上下水道時間当り使用量>>>



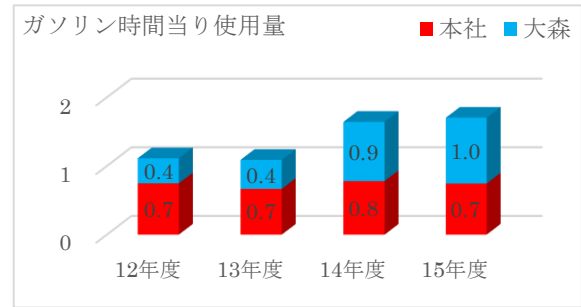
<<<電気時間当り使用量>>>



<<<ガス時間当り使用量>>>



<<<ガソリン時間当り使用量>>>



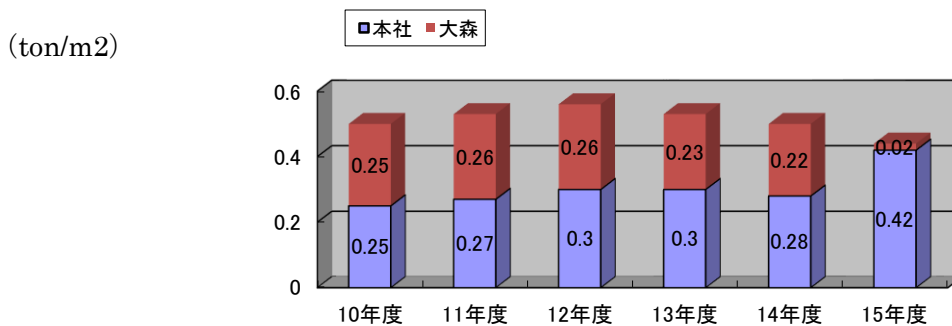
6.2 環境への負荷(OUTPUT)

注: 2015年5月に、大森工場と本社は合併したため、資源の使用量と排出物が大幅変化しました。

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
汚泥(kg)	537810	390403	281210	10870
廃酸(L)	86030	103120	101500	169720
廃アルカリ(L)	22060	23990	44390	6660
脱脂(kg)	8830	17600	0	44770
不燃(ton)	28	16	37.5	5.3
塗装カス(kg)	2955	1860	2170	0
廃シンナー(L)	1920	3650	4770	7400

<<< CO2削減活動 >>> 地球温暖化対策計画書の提出(名古屋市)

<敷地面積当たりの温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)>(4月-3月)

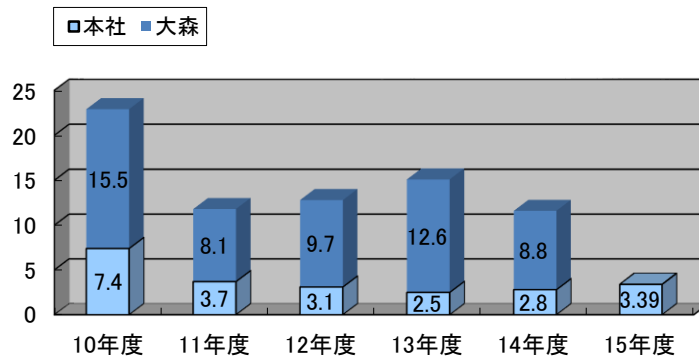


6.3 社内活動

<<< 3R活動 >>> 1. リデュース 2. リユース 3. リサイクル

<廃酸、廃アルカリ>(4月-3月)

(KL/h)



廃プラスチックを粉砕して鉄粉を加えることで、燃料補助剤へのリサイクルを実現しました。また、ニッケルを含むめっきスラッジをリサイクル業者へ販売。廃棄物の再資源化に努めています。

<<< 技術開発 >>>

年度	工場	活動内容
平成13年度		ニッケル代替ナノ結晶めっきの研究開発
平成14年度		めっき工程におけるほう素の低減に関する研究開発
平成18年度	大森工場	二層亜鉛めっき—自己修復性金属氧化物皮膜—
平成19年度	大森工場	二層亜鉛めっき—自己修復性金属氧化物皮膜—その2
平成20年度	大森工場	二層亜鉛めっき—自己修復性金属氧化物皮膜—その3
平成26年度	本社	UV 紫外線前処理の研究開発(共同研究)
平成26年度	本社	サテンめっき、ダークサテンめっき、インジウム蒸着2016年4月量産開始可能

<<< クリーンエネルギーの採用 >>>



<ソーラーシステム>

<<< 照明のLED化 >>>

プラットフォームのアンロードに使う照明は全部LED化済みである。今後、トイレなどの照明灯を全部LED化する予定である。

<<< グリーン購入活動 >>>

社内では、社員全員一人ひとりが日常的にかかわる環境活動として、グリーン購入を推進しています。必要なものだけ購入したり、できれば環境配慮型商品を優先したり、購入することを周知しています。

<<< コピー用紙削減活動 >>>

社内ではコピー用紙の削減活動を推進しています。そのうち、両面コピーを推進し、裏紙も再利用するよう周知徹底しています。

<<< 営業車両の取扱 >>>

白金鍍金工業株式会社では営業用車両もCO2削減を配慮しており、国内営業用車両ではハイブリット車への切り替えを進んでおります。原則として、2014年以後、変更購入する車両はハイブリット車を優先的に選択します。

<<< 水資源の有効利用 >>> 水洗水浄化再利用技術の開発

水資源の確保は鍍金生産中に高品質なメッキ品にとって、必要不可欠である。ですから、水使用量の削減は鍍金企業にとって、大きな課題である。技術部では高品質を確保する最小限に水使用量を算出することに努力し続けている一方、水洗水の再利用の研究も行っています。

<水質データ>2015年度

本社		
測定項目	基準値	実測値
PH	5~9	7.03
6価クロム	0.5mg/L 以下	0.09mg/L
亜鉛	2mg/L 以下	0.18mg/L
ほう素	10mg/L 以下	4.9mg/L
ふっ素	8mg/L 以下	1.9mg/L

- ・実測値におけるPHは計測値の平均値。その他の数値は年間での計測値の最大値。
- ・ほう素、ふっ素は、下水道法でそれぞれ 10mg/L 以下、8mg/L 以下である。
- ・測定機関: 株式会社 愛研(計量証明事業愛知県知事登録 第 273 号)

＜PRTRの報告＞2015年度

鍍金生産活動に用いている化学物質中には環境影響を配慮されるPRTR対象化学物質が含まれており、化学物質の年間取扱量、排出量及び移動量を把握することにより、適正管理を求められております。

本社		
化学物質	排出量	移動量
クロム及び3価クロム化合物	25kg	1400kg
6価クロム化合物	0	3.9kg
銅水溶性塩	0	19kg
ニッケル化合物	660kg	89kg

・特定第1種指定化学物質(発ガン物質)の年間取扱量は0.5トン以上である。